

# 平成24年度 第1回 温海地域審議会

日 時 平成24年5月24日（木）

午後2時～

場 所 温海庁舎 6階大会議室

## 1. 開 会

## 2. あいさつ

## 3. 報 告

### (1) 平成24年度予算及び主な事業の概要について

#### ○参考資料

- ・平成24年度鶴岡市予算特集号（広報つるおか特集号）
- ・平成24年度予算及び主な事業の概要・・・・・・・・・・ [資料1]
- ・平成24年度主要事業の概要（温海庁舎）・・・・・・・・ [資料2]

### (2) 提言書について

#### ○参考資料

- ・温海地域審議会提言書・・・・・・・・・・・・・・・・ [資料3]
- ・温海地域審議会からの提言に基づく事業計画について [資料4]

## 4. 協 議

### (1) 平成24年度温海地域審議会の内容について

### (2) その他

## 5. そ の 他

## 6. 閉 会

# 平成24年度主要事業の概要



鶴岡市温海庁舎

## 平成24年度主要事業の概要

温海庁舎 (単位:千円)

NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
1	市有財産管理事業(P87) ----- 市有財産整備工事費(新規) (旧念珠関中学校解体工事)	市	昭和28年に建設され平成10年に廃校となった校舎建物の老朽化が著しいため解体工事を行う。 (跡地となる市有財産(土地)の売却が決定次第)	31,400	総務企画課
2	交通輸送対策事業(P96) ----- 生活交通バス維持費補助金(継続)	市	廃止路線代替バスへの運行補助を行い、地域住民の日常生活の交通の便を確保する。	29,336	総務企画課
3	交通輸送対策事業(P96) ----- 高齢者生活交通対策(高齢者いきいきバス)補助金(継続)	バス事業者	満70歳以上の高齢者を対象に、温海地域内全路線と温海鶴岡線、越沢線の路線に乗車できる高齢者いきいきバス事業(定期券)に補助する。これにより年間3万円で中心市街地までのバスを利用できることになり、高齢者の負担軽減を図る。	4,500 (市全体)	総務企画課
4	婚活支援事業(P98) ----- 婚活支援事業(継続)	市 事業実施団体	少子化の一因になっている未婚化・晩婚化について、地域の実態を把握するとともに、企業や団体、地域と連携して結婚に向けた環境づくりを推進する。	2,000 (市全体)	総務企画課
5	過疎対策推進事業(P103) ----- 集落支援員設置事業(継続) 過疎地域集落対策事業(新規)	市	過疎地域の集落対策として、温海地域と朝日地域に集落支援員を各1名配置し、住民との共同作業により集落点検や話し合いから課題を掘り起こし、住民自らの知恵と工夫により集落ビジョンを策定すると共に集落活性化を推進する。	8,978 (市全体)	総務企画課
6	地域活性化事業(P101) ----- 集落活性化懇談会開催事業(継続)	市	職員の集落担当制による集落懇談会を開催し、地域課題の掘り起こしや解決に向けた取組みを行う。	318	総務企画課
7	自治組織等 運営活動対策事業(P115) ----- 温海地域自治会総合交付金 交付事業(継続)	市	地域内自治会に対し交付金を交付し、行政事務の円滑化及び集落の振興並びに運営の健全化を図る。	15,104	総務企画課
8	生涯学習振興事業(P117) ----- 第27回温海さくらマラソン大会 第27回温海トライアスロン大会 (継続)	大会実行委員会	さくらマラソン大会 4月22日(日) 温海温泉を中心としたコース 約1,600人 参加予定 トライアスロン大会 7月15日(日) 鼠ヶ関を中心としたコース 個人200人、チーム20組参加予定	1,330	総務企画課

NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
9	生涯学習振興事業 (P117) 公民館類似施設整備事業 (P117) ..... 公民館類似施設 運営育成事業(継続)	市	温海地域の自治公民館における公民館活動を推進すると共に、建物・設備の修繕、備品購入に対する支援。	16,121 (市全体)	総務企画課
10	重度心身障害(児)者社会 参加促進事業(P155) ..... 福祉タクシー利用料金助成 費福祉給油券助成費 (継続)	市	年間24(30)枚のタクシー券を交付し、市と委託契約を締結しているタクシー業者を利用した際、基本料金相当分を助成する。また年間12(15)枚のガソリン券を交付し、市と契約締結している業者を利用した際、1回につき800円の助成をする。タクシー券または給油券を選択する。対象者は身体障害者手帳1級から3級、療育手帳A、障害者手帳(精神)1級手帳保持者及び自動車税等の減免を受けている者。	33,638 (全市分)	市民福祉課
11	高齢者施設運営事業(P161) ..... 高齢者生活福祉センター運 営業務委託料(継続)	市 (あつみ福祉会 に事業委託)	在宅での生活に支障がある高齢者に、一定期間住居を提供し、各種相談、助言及び緊急時の対応を行う。	3,568	市民福祉課
12	放課後児童対策事業(P167) ..... 放課後児童対策事業委託料 (継続)	あつみ福祉会	「あつみ保育園」に併設し、あつみ福祉会が運営する放課後児童クラブで小学生を対象に授業終了後から午後6時まで「あつみっこクラブ」を開設する事業を支援。保育料は6,500円で、兄弟で利用している場合は2人目以降4,500円、長期休暇加算3,000円で兄弟で利用の場合は2人目以降1,500円加算。	1,618	市民福祉課
13	民間保育所への各種補助事 業(P169) ..... 地域子育て支援センター事 業補助金(継続)	あつみ福祉会	あつみ福祉会が運営主体となって実施する子育て支援センター事業に対し、補助する。	7,400	市民福祉課
14	民間保育所への各種補助事 業(P169) ..... 温海地域保育所通園費補助 金(継続)	あつみ福祉会	あつみ福祉会が行う保育園へ通園する園児の送迎事業に対して市が経費の一部を補助する。	13,034	市民福祉課
15	予防接種事業(P185) ..... 予防接種委託料等(継続)	市	予防接種法に基づき、乳幼児・児童に対し予防接種を実施する。 (BCG、ポリオ、麻疹・風疹、日本脳炎、三種混合、二種混合) ・65歳以上の高齢者に対してインフルエンザ予防接種を実施する。 ・子宮頸がん予防、Hib、小児肺炎球菌ワクチンへの全額補助。	263,988 (全市分)	市民福祉課

NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
16	健康診査事業(P189)	市	がん、心臓病、脳卒中・糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康保持に役立たせる事業	246,288 (全市分)	市民福祉課
	健康診査委託料等(継続)				
17	塵芥収集事業(P199)	市	塵芥収集運搬業務委託	19,789	市民福祉課
	一般廃棄物収集運搬業務委託料(継続)				
18	介護予防地域活動推進事業(介護保険特別会計P137)	市 (地域の自主的 団体に事業委託)	公民館等の施設を利用し、趣味活動、軽スポーツ、保健福祉に係る健康相談、健康教室、介護教室等を実施して、高齢者の閉じこもり防止や介護予防を行うことにより生きがいをもって暮らしていけるように支援する。また、協力員などの組織化により地域ボランティア活動を普及する。	1,522	市民福祉課
	介護予防地域活動推進業務委託料(継続)				
19	地域活性化事業(P103)	市	農業者グループや認定農業者が遊休農地において、新たに景観作物やソバ、山菜等の作付けを行う場合、種苗の購入経費や肥料代、作物によっては資材代などの一部を助成し、遊休農地の解消を図る。	200	産業課
	遊休農地等活用生産組織モデル事業(継続)				
20	地域活性化事業(P101, P103)	市	朝市などにおいて、産直カーなどを使って生産者が直接販売することにより、地産地消の拡大を図る。また、農産加工を推進するため、農産加工グループの育成や農産加工品のコンテストなどを開催する。	481	産業課
	地産地消拡大モデル事業(継続)				
21	地域活性化事業(P103)	市	焼畑温海かぶの品質向上、圃場の確保、栽培技術の研鑽等、ブランド力向上のために組織的な取り組みに対して支援する。	200	産業課
	焼畑温海かぶのブランド力向上及び安定生産(新規)				
22	地域間連携事業(P103)	市	主に温海と朝日地域の農産物の販路拡大を図るため、首都圏等での需給調査や円滑な受発注を行うためのシステムづくり、各地域の特産物をセットにしたふるさと直送便などの検討を行うと共に、売れる作目の作付け誘導を図る。	1,722 (全体で)	産業課
	中山間地域農産物販路拡大調査事業(継続)				
23	地域間連携事業(P103)	鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」	由良の地域協議会と連携し、海洋資源を活用したグリーンツーリズム事業等を展開する。	450	産業課
	漁村地域力向上事業費補助金(継続)				

NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
24	地域営農システム構築事業 (P215)	市	高齢化や担い手不足のため、個別経営では営農が困難になりつつある状況を受け、モデル集落を選定したうえで、将来の集落営農の姿を検討する。	860 (市全体)	産業課
	地域営農システム構築事業 (継続)				
25	地域農業振興対策事業 (P217)	市	みょうがの根茎腐敗病の発生を抑制するため、効率的な抑制効果の検証試験について、その費用の一部を支援する。	180	産業課
	みょうが根茎腐敗病防除対策事業 (継続)				
26	環境保全型農業直接支援事業 (P219)	市	有機、特別栽培を基本とし、さらに環境に配慮した農業を実践する個人に対して10aあたり一定額を交付する。	87,400 (市全体)	産業課
	環境保全型農業直接支払交付金 (継続)				
27	中山間地域等直接支払交付金事業 (P223)	市	中山間地域における営農活動の条件不利を補正するため、3期対策の効率的な実施に取り組む。協定期間はH22～26年度までの5ヶ年。	55,842	産業課
	中山間地域等直接支払交付金 (継続)				
28	鳥獣被害対策事業 (P223)	市鳥獣被害防止対策協議会	有害鳥獣における農作物の被害を未然に防止するため、猿の成育域調査や爆音機購入等の追い払い用機材の購入経費に対し一部助成などを行う。	3,125 (市全体)	産業課
	有害鳥獣による農作物被害防止対策事業 (継続)				
29	生産物直売施設整備事業 (P225)	市	築20年以上が経過し、老朽化が進んでいる「しゃりん」の屋根や外壁などを中心にした改修工事を行う。	27,000	産業課
	しゃりん施設整備工事 (新規)				
30	農地・水・保管理支払活動支援事業 (P231)	農地・水・環境保全向上対策地域協議会	地域全体で農地・農業用水路等の保管理を行う体制を整備する共同活動支援と土地改良施設の長寿命化を図るための向上活動支援に対する交付金。	187,895 (市全体)	産業課
	農地・水・環境保全向上対策地域協議会負担金 (継続)				
31	地籍調査費 (P233)	市	地籍簿及び地籍図の作成 越沢地区(郷清水・岩菅沢 調査面積0.12km <sup>2</sup> )	3,218	産業課
	地籍調査事業委託料ほか (継続)				
32	林道維持管理事業 (P237)	市	林道維持に係る、原材料費や草刈等の維持管理業務を委託する。	10,745 (市全体)	産業課
	林道維持管理事業 (継続)				
33	林業振興対策事業 (P237)	個人生産団体	中山間地域の森林資源・林地の有効活用を図ることを目的として栽培される、きのこ類の種駒や山菜の苗木等の購入費に対し一部を支援する。	1,300 (市全体)	産業課
	特用林産振興事業補助金 (継続)				

NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
34	間伐実施推進事業(P237)	温海町 森林組合	35年生以上の間伐事業に対し補助金を交付し、森林整備の促進と資源の有効活用を図る。	330	産業課
	間伐実施推進事業(温海庁舎実施分)(継続)				
35	森林整備支援事業(P237)	温海町 森林組合	森林の集約化、作業路網の点検整備活動に対して支援する。	26,360 (市全体)	産業課
	森林整備地域活動支援交付金(継続)				
36	市有林整備事業(P243)	市	絆の森と長期育成循環林、生活環境保全林について、下刈等の森林整備を行う。	1,073	産業課
	市有林整備事業(継続)				
37	林業基盤整備事業(P243)	市	小菅野代～湯温海へ連絡する基幹林道として整備を行う。全延長8,500mのうち1,190mの開設を県代行業務で行い、市は用地購入と丈量測量、支障木の伐採業務を行い、事業の円滑な推進を図る。	11,000	産業課
	林道八方峰線開設事業(継続)				
38	漁港施設整備改良事業(P249)	市	鈴漁港内の静穏度を向上させるため、西側に防波堤を新設するための測量設計業務と一部工事を行う。 L=15m	16,500	産業課
	鈴漁港防波堤新設(新規)				
39	漁港施設整備改良事業(P249)	市	老朽化した大岩川漁港の西側防波堤の嵩上げ等改良工事のための測量設計業務と一部工事を行う。 L=160m	16,000	産業課
	大岩川漁港防波堤改良(新規)				
40	地域活性化事業(P700)	あつみ観光協会、他	日沿道鶴岡温海間開通を契機とした温海地域で実施する誘客、活性化事業に対して補助金を交付する。	700	産業課
	温海地域誘客対策事業(新規)				
41	地域間連携事業(P103)	あつみ温泉魅力づくり推進委員会	あつみ温泉の活性化を図るため、あつみ温泉かじか通りを主会場として黒川能と山戸能の共演事業「せせらぎの能」を実施する。このため、事業主体となる「あつみ温泉魅力づくり推進委員会」に対して補助金を交付する。	2,600	産業課
	あつみ温泉集客イベント実施事業(継続)				

NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
42	羽越しな布振興事業 (P255) ..... 羽越しな布振興事業 (継続)	羽越しな布振興協議会	国の伝統的工芸品である羽越しな布の振興を図るため、後継者の育成事業、需要の拡大などの取り組みに対し、補助金を交付する。	352	産業課
43	観光一般事業 (P263) ..... あつみ観光協会振興事業 (継続)	あつみ観光協会	あつみ観光協会の運営及び協会が行う観光宣伝、誘客等の各種事業に補助金を交付し、温海地域の観光振興を図る。	4,263	産業課
44	観光一般事業 (P263) ..... にぎわいのある温泉街創出事業 (継続)	あつみ観光協会温泉支部	「そぞろ歩きの楽しい温泉街」の実現に向け、あつみ観光協会温泉支部が行う着地型観光の推進事業に対して補助金を交付し、温泉街のにぎわい創出と観光誘客を促進する。	970	産業課
45	日沿道開通対策観光振興事業 (P267) ..... 日沿道開通対策観光振興事業 (新規)	鶴岡市観光連盟	日沿道開通に伴う観光物産展PR事業及び各種誘客事業に対して補助金を交付し、日沿道の利用促進及び周辺地域の観光振興を図る。	3,000 (市全体)	産業課
46	温海温泉活性化施設管理運営事業 (P271) ..... 温海温泉活性化施設管理運営事業 (継続)	市 (クアポリス温海に事業委託)	指定管理者である株式会社クアポリス温海に管理運営を委託しながら、あつみ温泉の観光拠点として、街のにぎわいづくりに取り組む。	3,102	産業課
47	雇用対策事業 (継続)	市及び事業委託	※別紙 (P8) 参照	23,204	産業課
48	高速自動車道建設事業対策業務 (P275) ..... 日本海沿岸東北自動車道建設促進期成同盟会負担金 (継続)	市	新潟県村上市、周辺町村及び関係団体で組織する県境地区期成同盟会を活動母体に、建設促進大会や要望活動等を実施し、日沿道の新潟・山形県境区間の早期整備を促進する。	600	総務企画課 建設部温海建設事務室
49	道路維持事業 (P283) ..... 交通安全施設整備工事費 (継続)	市	市道2路線 ガードレール整備等	1,700	建設部温海建設事務室
50	道路新設改良事業 (P283) ..... 道路改良、道路側溝整備ほか (継続)	市	市道7路線 舗装・側溝改良	12,750	建設部温海建設事務室



NO	事業名	事業主体	事業内容	事業費	担当課
51	道路公共事業(P289) ..... 過疎地域自立促進事業 小学校通線ほか1路線(継続)	市	L=360m W=4.0(8.5)m 片側歩道整備 W=2.5m H20・24 ~	62,200	建設部温海 建設事務室
	道路公共事業(P289) ..... 過疎地域自立促進事業 小名部線(新規)		L=570m W=4.0(5.0)m 舗装・側溝改良 H24~		
	道路公共事業(P289) ..... 過疎地域自立促進事業 一霞中通1号線(新規)		L=180m W=4.0(5.0)m 現道一部拡幅 H24~		
	道路公共事業(P289) ..... 過疎地域自立促進事業 関川1号線ほか1路線 (新規)		L=250m W=4.0(5.0)m 路面流水消雪施設整備 H24~		
52	都市計画管理事務(P295) ..... 報償費、費用弁償(継続)	市	「歩いて楽しい温泉街」を目指して、あつみ温泉まちづくりアドバイザーから指導を受ける。	175	建設部温海 建設事務室
53	総合型地域スポーツクラブ 活動支援事業(P375) ..... 総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業(継続)	市	「あつみスポーツクラブネクサス」について、地域における生涯スポーツの拠点として育成支援を行う。	6,998 (市全体)	スポーツ課
54	あつみ温泉一本木スキー場 管理運営事業(P385) ..... あつみ温泉一本木スキー場 管理運営事業(継続)	市	スキー場利用者の安全確保と快適な施設利用を図るため管理運営する。	8,548	スポーツ課
55	鼠ヶ関マリーナ管理業務 (P386) ..... 鼠ヶ関マリーナ管理 運営事業(継続)	市	鼠ヶ関マリーナを山形県より指定管理者の指定を受けハーバーマスターを配置し、施設を管理運営する。	18,029	スポーツ課
56	消防施設新設改良事業 (P315) ..... 消防施設新設改良事業 (継続)	市	防火水槽、車両購入、消火栓新設改良並びに消防施設の修繕等に努め地域の安全を確保する。	11,368	消防本部
57	災害に強いまちづくり事業 (P319) ..... 海岸地域避難路整備連携事業 (新規)	市	海岸地域の自主防災組織が行う避難路整備を支援し、津波災害対策の強化を図る。	3,000 (市全体)	消防本部

# 緊急雇用創出事業一覧

(単位:千円)

事業名 (新規・継続)	事業 主体	事業内容	予算額	担当課
		雇用期間 (人数)		
林道維持管理事業 (継続)	市 (民間事業所 に委託)	温海地域の林道に通常の維持管理作業では困難な作業(路面補修・側溝浚渫・崩落土砂撤去・支障木除去等)を行い、林産物の抛出等における良好な通行の確保を図る。	10,355	産業課
		平成24年5月～11月 (4名)		
森林整備準備事業 (継続)	市 (温海町森林 組合に委託)	後年度間伐等森林整備事業が予定されている森林において、作業の安全確保のため、つる切、作業路整備、支障木除去などの準備作業を行うとともに、間伐等の森林整備の促進を図るための作業路開設の準備調査を行う。	5,990	産業課
		平成24年4月～11月 (3名)		
観光施設等環境整備事業 (継続)	市 (温海町森林 組合に委託)	温海地域を訪れる方や市民が、森林浴や散策など、森林に親しむ機会が増加傾向にあることから、未整備の登山・トレッキングルートの整備や新たな散策ルートの整備に向けた調査などを実施する。	4,512	産業課
		平成24年5月～10月 (2名)		
観光振興対策事業 (観光資源発掘・活用事業) (継続)	市 (あつみ観光 協会に委託)	地域内の多くの観光資源や新たに発掘した観光素材を活用しながら、観光誘客事業を実施し、観光客数の増加を図る。	2,347	産業課
		平成24年4月～平成25年3月 (1名)		

## 温海地域審議会からの提言に基づく事業計画について

提 言 内 容	事業計画と方向性
<p><b>提言 1 地域グループのネットワーク化について</b></p> <p>▼「あつみイベントバンク運営事業」の実施</p> <p>各団体に対するイベント関連情報の提供によるイベントの開催支援と新たなイベント起こしへの支援や、地域内イベントについて関連性を持たせ、観光資源や歴史・文化的資源を連結させ、イベント共通券の発行などにより地域内への滞在時間を確保するための連結イベントの企画を行うとともに、ホームページ、市広報、情報誌等を利用したイベント情報の発信を行うための「あつみイベントバンク」を設置し、その運営支援を行うこと。</p>	<p>○事業年度：24年度～28年度（5ヵ年）</p> <p>○所 管：総務企画課・産業課</p> <p>○具体的な取り組み（年次）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24：資源調査、整理、各団体との連絡調整会議、イベントバンク運営団体の検討を行う。</li> <li>・25：コーディネーターの人選、養成講座の受講</li> <li>・26：イベントバンクの本格運営</li> <li>・29：民間運営に全面移行</li> </ul>
<p>○基礎調査の実施</p> <p>地域内で行われているイベントや主催団体、ボランティア等の人的資源、音響等資器材の物的資源や観光、景勝地、歴史・文化等の地域資源情報について調査、集約を行う。併せて、事業実施に向け、行政、各関係団体による協議・検討を行い、効率的な運営体制を構築すること。</p>	<p>24年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が中心となり基礎調査を実施。</li> <li>・関係団体による連絡調整機関として、「(仮称) イベントバンク設立準備委員会」を設置し、運営内容や運営組織についての検討を行う。</li> </ul> <p>25年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から運営組織への事業委託</li> </ul>
<p>○イベントコーディネーターの養成</p> <p>事業実施にあたってはその中核を担うイベントコーディネーターの養成が不可欠であり、行政、民間を問わず適切な人選を行うとともに、研修等を行い、その養成を行うこと。</p>	<p>25年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営組織による雇用</li> <li>・研修機関への派遣</li> </ul>
<p>○情報提供システムの開発</p> <p>温海地域を含む鶴岡市内におけるイベントや観光地、文化財等の情報を一元的に管理し、必要な情報をスムーズに提供するためのシステムの開発を行うこと。</p>	<p>25年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントバンクの情報を効率的に提供するためのシステム開発</li> <li>・ 提供場所の検討（SA、PA、道の駅、HP等）</li> </ul>

<p><b>提言 2 日沿道延伸に伴う観光誘客事業について</b></p>	<p>○事業年度：23 年度～ ○所 管：産業課</p>
<p>▼「森林公園構想に係る調査事業」の実施</p> <p>○ あつみ温泉 I C に近接する温和の森や天魄山、西山林道周辺の素晴らしい自然環境と景観を活用し、森に親しむ機会の創出と体験型観光の拠点整備を目的とした「森林公園構想」の策定に向けた調査事業を実施すること。</p>	<p>24 年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天魄山、温和の森を中心とした森林公園「(仮称)協働の森」構想の策定</li> <li>・ 地域資源の洗い出し、整理</li> </ul> <p>※別紙区域図、資源一覧参照</p> <p>25 年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本設計 (コンサル)</li> <li>・ 各団体とのパートナーズ協定</li> </ul>
<p>▼「温海地域ドライブコース作成・PR 事業」の実施</p> <p>○温海地域の観光資源 (自然・歴史・文化・生活体験) を活用したドライブコースの検討、作成を行い、効果的な PR を行うこと。</p>	<p>24 年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24 年度 誘客対策事業及び緊急雇用事業で実施。</li> </ul>
<p>▼「観光案内看板整備事業」の実施</p> <p>○あつみ温泉 I C からあつみ温泉までの県道沿いに歓迎塔 (看板) を設置し、来訪者に対する歓迎の気持ちを表現すること。</p>	<p>23 年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23 年度 あつみ温泉 I C ～あつみ温泉間に歓迎看板を設置した。</li> </ul>
<p>▼「天魄山周辺環境整備事業」の実施</p> <p>○あつみ温泉 I C から天魄山までの案内標識を設置し利用者の利便性を確保すること。</p> <p>○既存の展望台は老朽化が目立つことから修繕を行い、観光客等が安全に利用できるよう整備を行うこと。併せて新たな展望台の設置を検討すること。</p> <p>○山頂からは雄大な日本海をはじめとした素晴らしい景色を望むことができるが、周辺の樹木の生長などにより眺望が失われている状況にあり、その眺望を確保するための樹木の伐採、下刈り等の環境整備を行うこと。</p> <p>○山頂には駐車場が整備されているが、周辺の樹木が生長し、雑草が生い茂ることによって使用が制限されていることから、駐車場周辺の環境整備を行うこと。</p> <p>○山頂に休憩ベンチや見どころ説明板を設置し、利用者の憩いの場として利用できるよう整備を行うこと。</p>	<p>24 年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林公園構想</li> <li>・ 当面眺望の確保、利用者の安全、利便性の確保のための環境整備を行う。</li> <li>・ 24 年度 緊急雇用対策事業等を活用し天魄山山頂、駐車場及び道路周辺の環境整備を行う。</li> </ul>

<p>▼「温和の森の再整備事業」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の散策ルートは草木が生い茂りその機能を失っている状況であり、支障木の除伐、枝打ちを行い、利用者の安全を確保するとともに、案内看板を設置し利便性を確保すること。</li> <li>○「温和の森」内の「遊友の森」に公園施設を整備し、憩いの場として、また、健康づくりの場として市民や観光客が気軽に利用できるようにすること。また、あつみ温泉にも近いことから近年競技人口が増加しているグラウンド・ゴルフ場を設置し、大会を誘致することで宿泊客の増加にも大きな効果が期待できる。</li> <li>○あつみ温泉 I Cからも近いことから、間伐材を利用した案内看板の設置や案内パンフレットの作成を行い、観光客の利用にも配慮を行うこと。</li> </ul>	<p>24年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林公園構想</li> <li>・ 山形県との協議</li> <li>・ 当面利用者の安全、利便性の確保のため支障木の処理等を行う。併せて看板類の整備を行い利用出来る環境を維持する。</li> <li>・ 地元住民にその存在をPRし、利用促進を図る。</li> <li>・ G・G場の整備検討（公認コース＝スポーツ課との協議）</li> </ul>
<p><b>提言3 農林水産業の後継者づくりについて</b></p>	<p>○事業年度：24年度～ ○所 管：産業課</p>
<p>▼「サラリーマン第1次産業化プロジェクト」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊休農地や未利用ハウスなどを活用した稲作や畑作、また特産の温海かぶの焼畑・収穫ツアーなどの農業体験事業を実施すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24年度 地域活性化事業で実施 遊休農地活用：200千円 温海かぶ後継者育成等：200千円</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「サラリーマン林太郎」事業を継続し、チェーンソー講習会や木材の伐採、特用林産物の栽培講習を通して林業体験事業を実施すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24年度 市森林環境教育推進事業で実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「サラリーマン鮮太郎」事業として、一本釣り漁や磯見漁、市場見学などを通しての漁業体験事業を実施すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24年度 市後継者対策事業で実施</li> </ul>
<p>▼「子どもを対象とした自然体験教室」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○天魄山周辺の自然環境を利用し、子どもたちが自然に親しむ機会を作るための自然体験教室を開催すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24年度 地域活性化事業で実施 林業・水産業の後継者づくり：200千円</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○内水面漁業協同組合と連携を図り、郷土の豊かな自然環境及び生命誕生の神秘と尊厳を体得することを目的に、子供を対象とした鮭の孵化体験事業を実施すること。</li> </ul>	

# 温海地域審議会 提言書

平成23年12月15日

はじめに

温海地域は、27の自治会（自治公民館）を中心として、社会教育事業の推進、歴史・文化の保存・伝承、地域の安全・安心の確保等、コミュニティ活動が活発に展開されております。しかし、少子高齢化と過疎化の進行による人口の減少は、地域コミュニティの活動に大きな影響を与えるばかりでなく、農林水産業や観光業をはじめとする産業振興にも大きな影響を与えております。

一方で日沿道「鶴岡～温海間」の供用開始と併せ、主要地方道余目温海線の国道7号への接続も整備が進められ、今年8月には日沿道「朝日まほろば～温海間」も計画段階評価に着手されるなど、インフラ整備は順調に進んでおり、地域の活性化に大きな効果をもたらすものと期待されております。また、温海地域には豊かな自然や歴史・文化といった地域資源が数多く残されており、この豊かな地域資源をいかに活用し地域の活性化を図っていくかが課題となっております。

このような状況の中、温海地域審議会は平成22年度から研修や分散会、現地視察を含め9回の審議会を開催してまいりました。この間、委員一人ひとりがテーマを提案し、その中から「地域グループのネットワーク化」、「日沿道延伸に伴う観光誘客事業」、「農林水産業の後継者づくり」の3つを温海地域のテーマとし、地域活性化のため、その解決策を真剣に検討・協議を行い、より具体的な施策に踏み込んだ内容の提言書を作成しております。

今後共市民と行政が一体となり地域の活性化に取り組み、温海地域の振興はもとより、鶴岡市全体の発展に寄与することを祈念し、提言といたします。

平成 23 年 12 月 15 日

鶴岡市長 榎本政規 様

温海地域審議会会長 奥井 厚

# 目 次

## I 地域振興に関する提言

### 提言1 地域グループのネットワーク化について

- |               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1. 現状と課題      | _____ | 1 |
| 2. 提言の概要      | _____ | 1 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | _____ | 2 |

### 提言2 日沿道延伸に伴う観光誘客事業について

- |               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1. 現状と課題      | _____ | 3 |
| 2. 提言の概要      | _____ | 3 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | _____ | 4 |

### 提言3 農林水産業の後継者づくりについて

- |               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1. 現状と課題      | _____ | 6 |
| 2. 提言の概要      | _____ | 6 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | _____ | 7 |

## II 温海地域審議会の開催状況 \_\_\_\_\_ 9

## III 温海地域審議会委員名簿 \_\_\_\_\_ 10



# I 地域振興に関する提言

## 提言1 地域グループのネットワーク化について

### 1. 現状と課題

温海地域は海、山、川、そして温泉と豊富な地域資源を有しており、この豊富な地域資源を活用し観光協会や自治会、地域グループなどが年間60を超える多くのイベントを行っている。しかし、現在は道路事情などもあり地域間のつながりが少なく、同じ日に地域内で複数のイベントが開催されているにもかかわらず、それぞれのイベントで完結してしまうなど個々の事業の連携が取れていない状況にある。また、それぞれの団体が持っている人や物、イベントのノウハウなどの情報もうまく提供されていない現状にある。

せっかく訪れた参加者をより長く温海地域に滞在させ、温海の魅力を広くPRするため、地域連携を密にし、新たな活力を生み出す方策が課題になっている。

併せて整備が進む日沿道と地域内に設置される3箇所のインターチェンジを有効活用し、豊富な地域資源や各集落、団体の取組みを「点」から「線」へとつなぎ、「活力ある温海」「魅力ある温海」づくりのため、市民と行政が一体となった取組みが課題となっている。

### 2. 提言の概要

#### ▼イベントコーディネーターの配置によるイベントバンクの運営

各集落、団体の取組みを「点」から「線」へとつなぐために、地域内イベント情報や各主催団体で所有するボランティア等の人的資源、音響等資器材の物的資源を一元的に管理するイベントバンクを運営し、ホームページ、市広報、情報誌等を利用したイベント情報の発信や資源の提供を行うことで主催団体の負担を軽減するとともに、新たなイベント起こしにも大きな効果が期待できる。

また、同時期、同日に開催されている地域内イベントも多くあることから、それぞれのイベントに関連性を持たせることや、観光資源や歴史・文化的資源を有効に活用するとともに、イベント共通券の発行などにより地域内への滞在時間を確保することが必要である。

これまで単独で実施してきた各種イベントに連帯感を持たせるとともに、ボランティ

アや物品などを有効に活用でき、さらにイベント実施に関するノウハウを蓄えることにより、新たなイベント起こしにも効果が期待できることから、イベントバンクの設置を図り、その中核を担うイベントコーディネーターを養成するとともに、その活動環境の整備を進めるよう提言する。

### 3. 具体的な解決策・施策

#### ▼「あつみイベントバンク運営事業」の実施

各団体に対するイベント関連情報の提供によるイベントの開催支援と新たなイベント起こしへの支援や、地域内イベントについて関連性を持たせ、観光資源や歴史・文化的資源を連結させ、イベント共通券の発行などにより地域内への滞在時間を確保するための連結イベントの企画を行うとともに、ホームページ、市広報、情報誌等を利用したイベント情報の発信を行うための「あつみイベントバンク」を設置し、その運営支援を行うこと。

#### ○基礎調査の実施

地域内で行われているイベントや主催団体、ボランティア等の人的資源、音響等器材の物的資源や観光、景勝地、歴史・文化等の地域資源情報について調査、集約を行う。併せて、事業実施に向け、行政、各関係団体による協議・検討を行い、効率的な運営体制を構築すること。

#### ○イベントコーディネーターの養成

事業実施にあたってはその中核を担うイベントコーディネーターの養成が不可欠であり、行政、民間を問わず適切な人選を行うとともに、研修等を行い、その養成を行うこと。

#### ○情報提供システムの開発

温海地域を含む鶴岡市内におけるイベントや観光地、文化財等の情報を一元的に管理し、必要な情報をスムーズに提供するためのシステムの開発を行うこと。

## 提言 2 日沿道延伸に伴う観光誘客事業について

### 1. 現状と課題

あつみ温泉の観光客は平成2年度の35万人をピークに減少傾向に歯止めがかからず、その対策として、温泉街の活性化に向けた「そぞろ歩きの楽しいあつみ温泉のまちづくり」を進めており、温海川沿いに整備された「かじか通り」を活用し、「せせらぎの能」などのイベントを開催し活性化に取り組んでいる。今後も民間活力の醸成、地域住民の協力などによる魅力的な店舗づくりの推進と、公共空間としての道路や公園の整備などが必要とされている。

昨今の観光客の動向は、昨年度実施したあつみ温泉実態調査からも判るとおり、団体旅行から個人・家族などの小グループ旅行へ、また、それに伴い公共交通機関利用から自家用車利用へと形態が大きく変化している。このような状況の中で日沿道の開通によって、(仮称)温海インターチェンジはあつみ温泉への重要な玄関口となり、これまでよりも遠方からの観光客の増加が見込まれる。一方、(仮称)温海インターチェンジからあつみ温泉へのアクセスはあつみ温泉トンネル経由の県道が主要道路となることから、インターチェンジ周辺はもとより、あつみ温泉へのアクセス道路周辺の散策道や景観を観光資源として活用した魅力ある観光地づくりが課題になっている。

### 2. 提言の概要

#### ▼温海地域ドライブコース作成・PR

(仮称)温海インターチェンジを降りてから、温海地域の有する自然的・文化的・歴史的資源を活用した地域内体験観光や、あつみ温泉街近隣の絶景スポットを整備し、併せてあつみ温泉を拠点とした周遊観光など、旅行客のニーズにあわせた魅力ある観光コースづくりを行い、PRすることで温泉旅館への宿泊客の増加が期待できる。また、ドライブコースとしての日帰り観光客の増加により、温海地域全体の集客も期待できることから、日沿道の開通に合わせた早期の作成と効果的なPRの実施を提言する。

#### ▼観光案内看板の整備

(仮称)温海インターチェンジからあつみ温泉までの県道沿いに歓迎塔(看板)を設置し、あつみ温泉街への誘導目印とするとともに、来訪者に対する歓迎の気持ちを表現できるような看板の整備を提言する。

#### ▼天魄山周辺の整備

天魄山山頂からの日本海や佐渡、鳥海山の素晴らしい展望を遮る杉などの伐採や山頂の展望施設の改修、駐車場周辺の環境整備を図り観光客にPRすることで、日帰り客はもとより、宿泊客が旅館からマイクロバスやタクシーで夜景を見に来ることも期待できる。また、天魄山中腹から通じる西山林道の眺望もすばらしく、林道周辺の環境整備や西山林道から神馬沢林道を結ぶ新たな林道が整備されれば魅力的な散策ルートになる。

あつみ温泉街近隣の絶景スポットとしてPRすることで温泉旅館への宿泊客の増加が期待でき、また、ドライブコースとしての日帰り観光客の増加により、温海地域全体の集客も期待できることから整備促進を図るよう提言する。

#### ▼温和の森の再整備

(仮称) 温海インターチェンジ近くの市道湯之里越路線の道路沿いに県が整備した「温和の森」があり、樹木が植樹され、散策道や休憩所、駐車場なども備わっているが、草木が生い茂っている箇所もあり、市民が森林散策などで楽しむためには、下刈りだけでなく除伐や枝打ちといった森林整備とソフト面も含めて市民が気軽に集えるような魅力的な森づくりを行う必要がある。具体的には新たな森林の利活用として、大会が開催できるグランド・ゴルフ場を造成し、「友愛の森広場」と併せて活用することを提言する。また、高速道路の利用者に施設の存在をPRするとともに、市民の生きがいくくりと健康増進にもつながり、観光客数の増加によるあつみ温泉の活性化も期待される。

### 3. 具体的な解決策・施策

#### ▼「森林公園構想に係る調査事業」の実施

- (仮称) 温海インターチェンジに近接する温和の森や天魄山、西山林道周辺の素晴らしい自然環境と景観を活用し、森に親しむ機会の創出と体験型観光の拠点整備を目的とした「森林公園構想」の策定に向けた調査事業を実施すること。

#### ▼「温海地域ドライブコース作成・PR事業」の実施

- 温海地域の観光資源（自然・歴史・文化・生活体験）を活用したドライブコースの検討、作成を行い、効果的なPRを行うこと。

#### ▼「観光案内看板整備事業」の実施

- (仮称) 温海インターチェンジからあつみ温泉までの県道沿いに歓迎塔（看板）を設置し、来訪者に対する歓迎の気持ちを表現すること。

#### ▼「天魄山周辺環境整備事業」の実施

- （仮称）温海インターチェンジから天魄山までの案内標識を設置し利用者の利便性を確保すること。
- 既存の展望台は老朽化が目立つことから修繕を行い、観光客等が安全に利用できるよう整備を行うこと。併せて新たな展望台の設置を検討すること。
- 山頂からは雄大な日本海をはじめとした素晴らしい景色を望むことができるが、周辺の樹木の生長などにより眺望が失われている状況にあり、その眺望を確保するための樹木の伐採、下刈り等の環境整備を行うこと。
- 山頂には駐車場が整備されているが、周辺の樹木が生長し、雑草が生い茂ることによって使用が制限されていることから、駐車場周辺の環境整備を行うこと。
- 山頂に休憩ベンチや見どころ説明板を設置し、利用者の憩いの場として利用できるよう整備を行うこと。

#### ▼「温和の森の再整備事業」の実施

- 現在の散策ルートは草木が生い茂りその機能を失っている状況であり、支障木の除伐、枝打ちを行い、利用者の安全を確保するとともに、案内看板を設置し利便性を確保すること。
- 「温和の森」内の「遊友の森」に公園施設を整備し、憩いの場として、また、健康づくりの場として市民や観光客が気軽に利用できるようにすること。また、あつみ温泉にも近いことから近年競技人口が増加しているグラウンド・ゴルフ場を設置し、大会を誘致することで宿泊客の増加にも大きな効果が期待できる。
- （仮称）温海インターチェンジからも近いことから、間伐材を利用した案内看板の設置や案内パンフレットの作成を行い、観光客の利用にも配慮を行うこと。

## 提言3 農林水産業の後継者づくりについて

### 1. 現状と課題

温海地域は、地域の87%を山林が占めていることから、農業は少ない耕地面積で米の生産を中心に少量多品目の生産という特色がある。また、ほとんどが農家林家であり、「温海かぶ」、「しな織」、「特用林産物」の生産・販売と特色を活かした取組みを展開しているが、集落営農の組織化、担い手の育成、遊休農地・施設の活用、林道の整備が課題となっている。また、森林文化都市として森林の利活用の拠点となる「温和の森」や「小国ふれあい公園」が所期の目的を十分に果たしていない状況にある。

温海地域における農林水産業は高齢化が進み、農林業においては山林、農地の荒廃が進み、水産業においては沿岸漁業、特に一本釣り漁業や磯見船の高齢化が目立っており、内水面漁業においても、特に鮭の孵化事業において高齢化が進んでおり、後継者不足が深刻な状況にある。

一方で森の産直カー・海の産直カー事業などの新たな動きが出てきてはいるが、農林水産物の生産・集荷・販売だけでなく、所得の拡大のため、加工に取り組むシステムなどが必要とされており、そのための人材育成が求められている。

その対策のひとつとして、「団塊の世代」と呼ばれる方々を始めとして多くの方々が退職され、その知識・能力・経験を活かして地域の中で活躍されており、そのマンパワーを第一次産業の活性化に活かすことが求められている。当面、農林水産業を体験していただくことで収穫の喜び等を体感することにより、農林水産業に対する興味や関心を持ってもらい、第一次産業の後継者として定着させることが課題となっている。

### 2. 提言の概要

#### ▼農業後継者づくり

これまで実施してきた遊休農地の解消対策や未利用ハウスの実態調査等の結果によると、遊休農地の活用策については一部生産組合から取組みの希望や問い合わせがあったものの、豪雨災害の影響もあり解消には至っていない。一方、未利用ハウスの実態については、育苗ハウス以外のハウスはほとんどが年間を通じて作付けが行われているが、一部有効利用されていないハウスやオフシーズンの育苗ハウスなど利用可能な施設の存在が確認されている。これらのハウスや作付けするための条件が良好な休耕田などを活用し、稲作や畑作の体験事業を実施する。農地法との関わりもあることから、圃場は

市で事業用として所有者から借り上げ、体験事業として農産物の作付けを行うことを検討する。また、安定した作業の継続を図るため、なるべくグループによる取組みを推進するとともに、日沿道の開通を機に市民農園としての活用及び地域の特産である温海かぶの焼畑・収穫体験などの実施について提言する。

#### ▼林業後継者づくり

市と森林組合との連携による事業「サラリーマン林太郎」として一連の森林施業の実践事業や特用林産物の生産振興事業が展開されており、参加者から好評を得ていることから、今後間伐材の有効活用や、地域内の産直施設や商工団体等との連携などによる地域経済への波及も期待される所であり、今後とも積極的な事業の推進を提言する。

一方で木材の価格が上がらないと根本的な後継者不足の解決にはならないことから、木材生産コストの低減や特用林産振興のため、林道や作業道による林内路網の整備を促進し、山の資源を活かせる環境づくりについても併せて提言する。

#### ▼水産業後継者づくり

一本釣り船や磯見船に漁業者と一緒に乗船するなどして漁業を体験することや、子どもの頃から川遊びや磯遊び、貝取りなどを通して川や海に親しむことは後継者づくりに大きな効果が期待できる。しかし一方で子どもたちが川や海に親しむ機会も減少していることから、体験事業の実施と併せて子どもたちが気軽に川や海に親しめる環境づくりを提言する。

また、内水面漁業においては組合員の高齢化が進み鮭の孵化事業の存続が危惧されてきており、組織の統合も含めた新たな事業の展開を図ることにより、資源の確保と後継者育成への取組みを提言する。

### 3. 具体的な解決策・施策

#### ▼「サラリーマン第1次産業化プロジェクト」の実施

- 遊休農地や未利用ハウスなどを活用した稲作や畑作、また特産の温海かぶの焼畑・収穫ツアーなどの農業体験事業を実施すること。
- 「サラリーマン林太郎」事業を継続し、チェンソー講習会や木材の伐採、特用林産物の栽培講習を通して林業体験事業を実施すること。
- 「サラリーマン鮮太郎」事業として、一本釣り漁や磯見漁、市場見学などを通しての漁業体験事業を実施すること。

▼「子どもを対象とした自然体験教室」の実施

- 天魄山周辺の自然環境を利用し、子どもたちが自然に親しむ機会を作るための自然体験教室を開催すること。
- 内水面漁業協同組合と連携を図り、郷土の豊かな自然環境及び生命誕生の神秘と尊厳を体得することを目的に、子供を対象とした鮭の孵化体験事業を実施すること。



## II 温海地域審議会の開催状況

### 平成22年度

回数	開催日	内容
第1回	7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画三カ年実施計画について</li> <li>・ 平成22年度予算及び主な事業の概要について</li> <li>・ 平成22年度主要事業の概要(温海庁舎)について</li> <li>・ 平成22年度調査事項について</li> </ul>
第2回	9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議テーマに関する提案について (分散会)</li> </ul>
第3回	10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議テーマに関する提案について (分散会)</li> </ul>
第4回	11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴岡市総合計画について</li> <li>・ 鶴岡市過疎自立促進計画について</li> <li>・ 地域コミュニティ実態調査の実施状況と課題について</li> </ul>
第5回	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校適正配置検討作業について</li> <li>・ 今年度の地域審議会のまとめについて</li> </ul>

### 平成23年度

回数	開催日	内容
第1回	5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23年度予算及び主な事業の概要について</li> <li>・ 23年度審議会の進め方について</li> <li>・ 行財政改革大綱について</li> </ul>
第2回	7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマに基づく事業計画(案)の提案</li> <li>・ 現地視察(日浴道IC、温和の森、天魄山)</li> </ul>
第3回	9月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政改革による地域庁舎の見直しについて</li> <li>・ テーマに基づく事業計画(案)の提案 (分散会)</li> </ul>
第4回	11月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴岡市総合計画実施計画について</li> <li>・ 鶴岡市国土利用計画について</li> <li>・ 提言書(案)について</li> </ul>

### Ⅲ 温海地域審議会委員名簿

任期:平成 22 年 6 月 10 日～平成 24 年 6 月 9 日

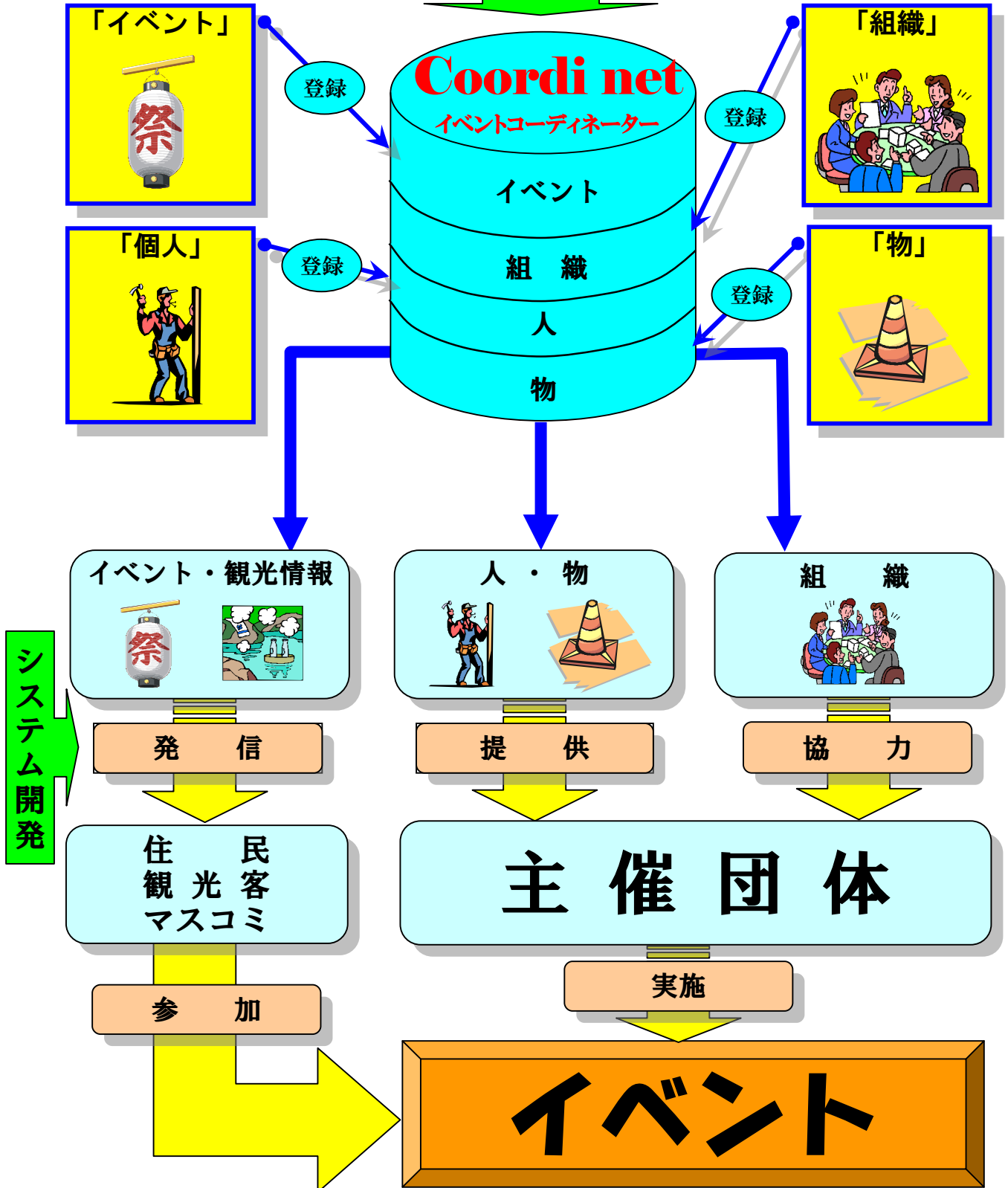
役職	所属団体・役職名等	氏 名	備考
会 長	温海地域自治会長会会長	奥 井 厚	
副会長	温海町森林組合代表理事組合長	佐 藤 重 夫	
委員	庄内たがわ農業協同組合理事	本 間 澄 男	
委員	山形県漁業協同組合理事	本 間 満	
委員	出羽商工会温海支部代表理事	柴 田 実	
委員	あつみ観光協会副会長	齋 藤 守 峰	
委員	あつみ福社会理事	橋 本 忠 志	
委員	温海地区民生児童委員協議会会長	五 十 嵐 孝 昭	
委員	温海地区小中学校PTA会長連絡会幹事校PTA会長	佐 藤 隆	
委員	温海体育協会会長	佐々木 眞 人	
委員	温海芸術文化協会事務局長	榎 本 五 郎 治	
委員	鶴岡市老人クラブ連合会温海支部支部長代行	三 浦 喜 一 郎	
委員	温海地域婦人会会長	佐 藤 美 代 子	
委員	温海地域青年団体連絡協議会会員	五 十 嵐 安 貴	
委員	鶴岡市消防団温海方面隊隊長	劔 持 孝 一	
委員	公 募	五 十 嵐 英 夫	
委員	公 募	鈴 木 義 一	
委員	公 募	齋 藤 徹	
委員	公 募	佐 藤 容 介	
委員	公 募	五 十 嵐 淳 子	

#### 前委員

	所属団体・役職名等	氏 名	備考
前	温海地域自治会長会会長	本 間 文 夫	H23.5.19 退任
前	鶴岡市社会福祉協議会理事	三 浦 仁	H23.5.19 退任
前	温海地区小中学校PTA会長連絡会幹事校PTA会長	三 浦 哲 哉	H23.5.19 退任
前	温海地区老人クラブ連合会会長	五 十 嵐 良 介	H23.9.30 退任

# 事業イメージ

イベントバンク設立準備委員会



※ 『**Coordi net**』 = 「コーディネート」「こお～でいねっと」「インターネット」の合成

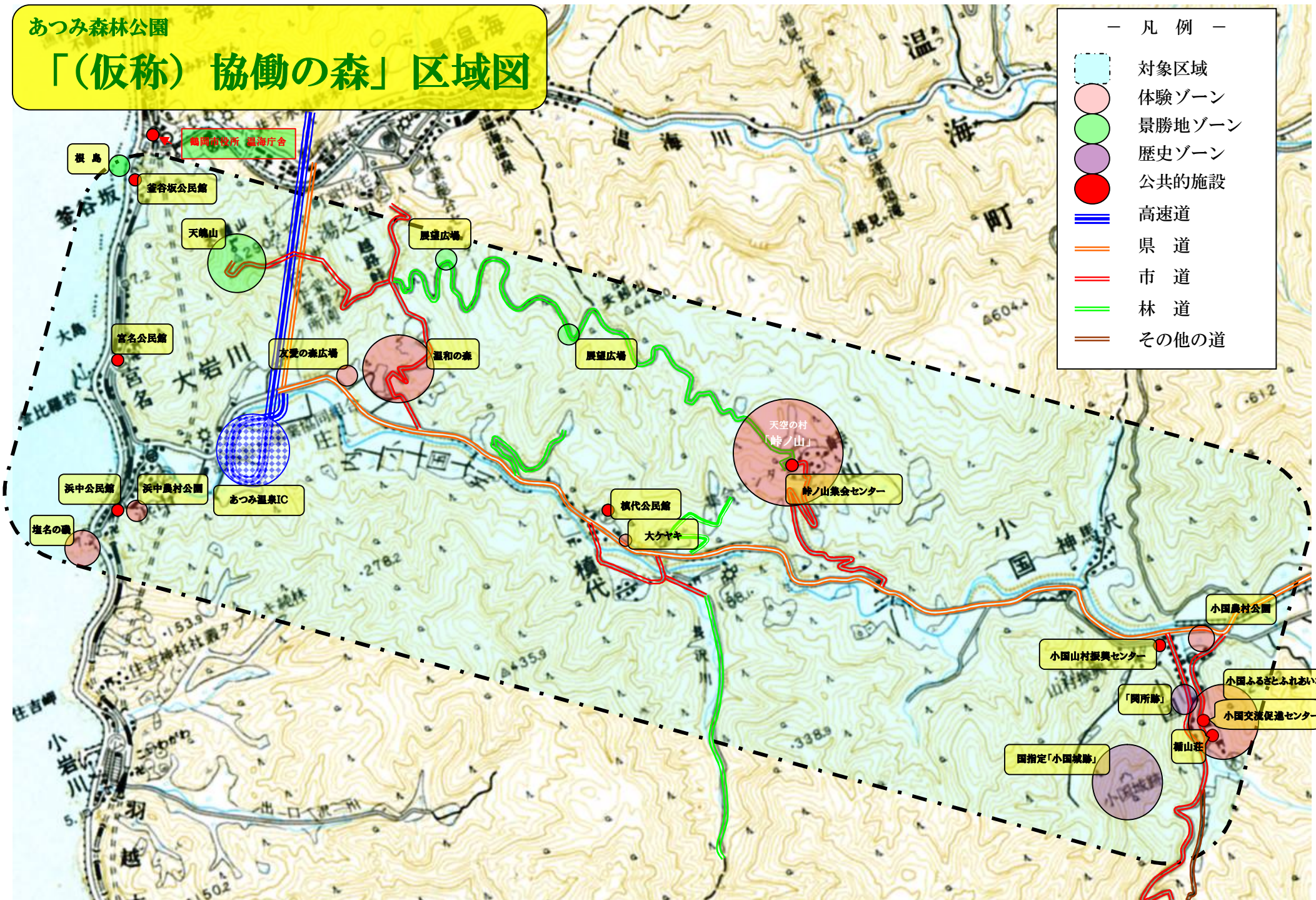
# あつみ森林公園「(仮称) 協働の森」構想

## 基本的な考え方

- 趣旨：天魄山、温和の森、西山林道を中心とした森林資源を観光、教育等多面的に有効活用するため森林公園を設置する。
- 区域：別添区域図参照
- 活用できる資源：別紙資源リスト参照
- 管理：市と関連する自治会、団体との協働体制  
(例) 天魄山：観光協会  
西山林道：峠ノ山自治会、槇代自治会  
温和の森：森林組合、G・G協会  
年1～2回、職員も参加して草刈りなどの環境整備作業を行う。
- 公共施設の有効利用：  
(例) 峠ノ山集会センター⇒ビジターセンター「天空の村」
- 計画振興：  
24年度：基礎調査、総合計画実施計画への位置付け、予算要求  
25年度：コンサルによる基本計画策定
- 関連施策：
  - 鶴岡市総合計画【基本計画】  
第4章 第2節 森林資源の有効な保全と活用  
(3) 地域資源としての森林の利活用
  - 鶴岡市総合計画【実施計画(23年度～25年度)】  
【重点方針3】【重点施策】  
(2) 森林文化都市構想と森林の保全・利活用の推進  
(主な取組み)
    - ・林道整備の推進及び作業道整備の支援による路網整備
    - ・市民や企業などとの協働による森づくり活動の推進
  - 鶴岡ルネサンス宣言ー
    - ・自然と共に生きる森林文化都市
- 財源：過疎債、森林交付税等

あつみ森林公園

# 「(仮称) 協働の森」区域図



## (仮称)「協働の森」資源リスト

### ○公民館等公的集会施設

自治会	キャッチ	施設の名称	所在地	電話番号
釜谷坂	夕陽の里	釜谷坂公民館	温海字釜谷坂 38-1	無
宮名		宮名公民館	大岩川字白岩 410-3	43-3206
浜中	ケヤキキョウダイの里	浜中公民館	大岩川乙 767	43-3908
槇代	大ケヤキとワッパ舞の 里	槇代公民館	槇代甲 98-2	43-2349
小国	古城の里	小国山村振興センター	小国字町尻 2-6	43-2931
		小国交流促進センター		無
		楯山荘		47-2222
峠ノ山	天空の村	峠ノ山集会センター	小国字西山 57-14	47-2918

### ○体験ゾーン

温和の森	G・G等軽スポーツ、トレッキング、自然体験
友愛の森	ソフトボール、G・G等軽スポーツ
峠ノ山	林業体験、またぎ体験、栗拾い
小国ふれあい村	炭焼き体験、昔の遊び体験、軽スポーツ、BBQ
小国森林公園	散策、トレッキング、自然教室
浜中農村公園	芋煮会、BBQ、磯遊び

### ○景勝地ゾーン

天魄山	眺望 海、山
根島	眺望 夕陽
西山林道	眺望 海、山

### ○歴史ゾーン

小国城跡	歴史 中世城館址 城下町の街並み
小国関所跡	歴史 江戸時代の関所跡

## ○宿泊ゾーン

小国ふれあい村	キャンプ、BBQ、簡易宿泊、自然体験
---------	--------------------

## ○道 路

高速道	日沿道（あつみ温泉IC）	
県 道	温海川・木野俣・大岩川線	
市 道	越路・天魄線	
	湯之里・越路線	
	一霞・小国線	
	峠ノ山1号線	
林 道	西山線	越路～峠ノ山
	東山線	神馬沢線高槇峠への接続
	倉ノ上線	槇代～峠ノ山
	内沢線	岩屋（パワースポットとしての活用）
	神馬沢線	小国～一霞
その他	出羽街道（一部）	旧小名部小国線

## ○歴史・民俗・文化

小国八幡宮弓射神事	
小国熊野神社大名行列	
小国熊野神社獅子舞	
小国城跡	
小国関所跡	
峠ノ山大黒舞	
峠ノ山獅子舞	
峠ノ山弓祭り	
槇代ワッパ舞	
槇代獅子舞	
浜中ケヤキキョウダイ	
浜中オロコギ	

## ○神社・仏閣

熊野神社	小国
永淳寺	小国
小田神社	神馬沢
神明神社	峠ノ山
大鳥神社	槇代
大坂神社	浜中
龍川寺	浜中



大川寺	宮名
新山神社	宮名
大天魄神社	釜谷坂

## ○伝説・伝承

槇代の大ケヤキ	切ってはならない
浜中 龍川寺 蛇の住んだ大ケヤキ	蛇のたたり
槇代 仁助松とゴヒン様	天狗の休み松 下に剣を奉納
釜谷坂 弘法大師の岩屋	弘法大師が籠もった穴 ふさがれている
釜谷坂 切り通し	山伏が鳶岩という岩壁を掘り割ってつくった道 使った鶴はし、金槌が大天魄神社に残っている
浜中 海から上がった観音様	<small>しわな</small> 塩名の仏島に寄り付いた観音様 大坂神社観音堂 木造り 南北朝時代 寄り神信仰
槇代・峠ノ山 <small>まるこうで</small> 丸高代の大蛇	槇代と峠ノ山の中の池にすむ大蛇 大雨を降らせ小国川から八郎瀧の主へ 板垣家にお礼の刀2本保存
峠ノ山 唐真木池の主	唐真木池の主の大蛇が水がなくなり三瀬の気比神社に移った 池が満水になる頃は帰ってくる
峠ノ山 沼の台の池の主	沼の台に池が2つ 大蛇がすんでいたが不明
小国 追込み沢	木野俣との境争い 木野俣から追い込まれて境界となった沢
小国 神馬沢の上人塚	即身仏伝説 供養塔
小国 六部塚	
釜谷坂 子ども好きな地藏様	安産にご利益 砂谷の地藏様と同じ木で作られた地藏様 現在は複製品
槇代 家々を回る地藏様	一木造り 子どもがやけどにならない守り神、加藤善太郎家が浜中の塩名から移住する際に一緒に持ってきた。
峠ノ山 キナキナの松	切ろうとすると「キナキナ(切んな、切んな)」と鳴く松
峠ノ山 鶴どまりの松	松から飛び立った鶴が温海嶽の麓の河原に降りたところに温泉があった(温海温泉)。
小国 大里山の財宝	オサト様のお堂がある山、財宝が埋まっているという神秘の山
獅子のけんか	小国と小名部の獅子はキョウダイであるが、昔けんかして、小国の獅子は牙を小名部の獅子は耳を壊されている。
峠ノ山 杉下駄を履かない村	杉で作った雨乞い地藏があるため。

峠ノ山の雨乞い地藏	鎌倉時代 五十嵐久作家
-----------	-------------

### ○動物昔話

小国	狐とツボ (たにし)
大岩川	猿とキジの田づくり
大岩川	古屋の漏家
大岩川	猿の生き肝
大岩川	時鳥兄弟

### ○本格昔話

小国 (神馬沢)	飯食わない子守
小国	ツブの息子
大岩川	銭が蛙になった話
大岩川	屁売り
大岩川	お白とお黒
小国	鼠の恩がえし
小国	飯食わな嫁婆
大岩川	和尚の蜘蛛退治

### ○笑 話

大岩川	ホロケおじ
榎代	猿の知恵くらべ
大岩川	鏡の話
大岩川	猪に追われた鉄砲打ち

### ○民 謡

小国	語り松坂
小国	普通松坂
小国	大名行列の松坂
小国・峠ノ山	いざやまき
小国	どんづき唄
大岩川・小国	盆踊り唄

### ○物 語

榎代	榎代の物語
----	-------

### ○子守唄

浜中・小国	
-------	--

### ○わらべ唄

浜中	てまり唄 「ネネヤ、オワヤ」「正月は正月は」「となりの三毛猫」「きくやきくや」「ひいふ左巻き」
小国	てまり唄 「きんざしかんざし」
大岩川	だま唄「おひとつ」
小国	だま唄「チンカラ棒唄」
槇代	ねぶりこっこ
大岩川	ぞうりかくしたねんぼ
大岩川	じゃんけん「オシャシャのシャン」
浜中	正月どこまで
浜中	雀々なくして

### ○妖怪伝説

小国	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 鉾山から折箱を持って帰宅中、女に誘われたが狐だった。</li><li>・ 川に夜突きに行って、はけごに入れていた。一服しているとはけごの魚が狐に取られ空になっていた。</li></ul>
大岩川	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 小岩川で酒を飲んで、イカを貰って帰る途中、狐にだまされ知らないうちに田んぼの中を歩いていた。</li></ul>

## 「サラリーマン第1次産業化プロジェクト」イメージ

サラリーマン「〇〇太郎」シリーズ化、農・林・水トータルの事業展開は？

### 「さらり満太郎」

#### 農

「サラリーマン耕太郎」

- ・遊休農地を活用した稲作、畑作
- ・温海かぶの焼畑、収穫ツアー

#### 農林水産業の 後継者育成

#### 林

「サラリーマン林太郎」

- ・チェーンソー講習
- ・木材の伐採講習
- ・特用林産物の栽培講習
- ・自然教室の開催

#### 水

「サラリーマン鮮太郎」

- ・一本釣り、磯見漁体験
- ・市場見学
- ・鮭の孵化体験事業

## 平成24年度温海地域審議会の内容について

- 1 市の重要事業や総合計画実施計画等について意見を伺うとともに、課題整理に基づき新たなテーマを設定、協議を行い、25年3月を目処に中間報告のとりまとめを行います。
- 2 現委員の任期が6月9日までとなっていることから、新委員の選任を行います。
- 3 25年度については、市の重要事業や総合計画実施計画について意見を伺うとともに、テーマに基づく協議を継続し、25年12月を目処に市長に対する提言の取りまとめを行います。

### 平成24年度 審議会開催のイメージ

#### 第1回 審議会 [5月24日(金)]

- 平成24年度予算及び主な事業の概要について
- 地域審議会の提言について
- 平成24年度温海地域審議会の内容について

#### 審議会委員の選任 [6月中]

- 各団体への推薦依頼、公募委員の募集

庁舎内地域戦略会議  
[7月中旬]

#### 第2回 審議会 [7月下旬]

- 辞令交付
- 課題整理、テーマの設定について

庁舎内地域戦略会議  
[9月中旬]

#### 第3回 審議会 [9月下旬]

- テーマに基づく協議

庁舎内地域戦略会議  
[11月上旬]

#### 第4回 審議会 [11月中旬]

- 鶴岡市総合計画実施計画について
- テーマに基づく協議 [分散会]

庁舎内地域戦略会議  
[2月上旬]

#### 第5回 審議会 [2月中旬]

- 中間報告の取りまとめ